

古典A

単位数	2 単位	対象学年	3 学年	対象クラス	情報ビジネス
使用教科書	古典A 物語選 (大修館書店)	副教材等	教科担当より配付するプリント 等		

1. 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ① 古典の表現に慣れ、音読・暗唱・書写等を通じ各作品の特色を理解し、登場人物の行動と心情を理解する。
- ② 古典に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解し、基礎を定着させる。
- ③ 古文各作品の必要に応じて、用言・助詞・助動詞・敬語法等を学習し、古典文法の基礎力を充実させ、応用力を養う。漢文各作品でも、必要に応じて再読文字・置き字・句型等の学習を行う。
- ④ 日本文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について考える。

3. 学習上のメッセージ

「古文」では、我が国の古典文学作品を通して、日本の文化や表現の美しさ、豊かな表現力や生き方・考え方などを学びます。併せて、古文特有の表現を理解するために、文法的な事項や修辞法などについても学習していきます。

「漢文」では我が国の文化に深い影響を与え、つながりの深い中国の古典を学習します。本文に用いられている漢文特有の表現を理解するために、「訓読するための決まり」（訓点や書き下し文）「句法」についても併せて学習します。

日頃から予習・復習をしっかりと行い古典の基礎力をつけましょう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の3つの観点から行う。

関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとしているか。
読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしているか。
知識・理解	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語彙、漢字等を理解し知識を身につけているか。

評価は具体的に次のものを対象とする。

- ① 年5回の定期考査
 - ② 授業中の発問に対して解答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高校の生徒として規則に則った服装での学習活動への参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
1 説話、物語 (古文)	今昔物語集 ・安倍晴明 ・陰陽師 竹取物語 ・かぐや姫の昇天 伊勢物語 ・初冠	・文章を正確に読み比べ、その違いを認識する。
		・古典の表現に慣れ、正しく音読する。
		・正しく音読し、内容を的確に読み取る。
		・古典と現代とのつながりを理解する。
1 学期中間試験		
2 随筆 (古文)	枕草子 ・すさまじきもの ・木の花は 方丈記 ・行く河の流れ 徒然草 ・世に語り伝ふること	・内容を的確に理解し、作者の考え方をまとめる。
		・文章の表現の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。
		・「方丈記」の内容について理解を深める。
1 学期期末試験		
3 日記 (古文)	土佐日記 ・阿倍仲麻呂の歌 ・白波 紫式部日記 ・和泉式部と清少納言 更級日記 ・あこがれ	・内容を的確に理解し、文章に表れた感情を読み取る。
		・文章の表現の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。
		・物語作品などへのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。
		・古人の旅について理解を深める。
2 学期中間試験		
1 故事成語 2 史伝 (漢文)	故事成語 ・知音 ・画竜点睛 ・漱石枕流 史伝 ・鴻門の会 ・項王の最期	・漢文訓読に習熟する。
		・故事成語の意味の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。
		・故事成語の叙述、史伝のおもしろさを味読する。
2 学期期末試験		
3 詩文 (漢文)	・竹里館 ・秋浦歌 ・送友人	・繰り返し音読し、漢文の口調に習熟する。
		・作品を暗誦することを通して理解を深める。
		・詩人たちの人生観や自然観についての認識を深める。
		・文学作品を鑑賞する能力を高める。
4 思想 (漢文)	・孔子と門人たち ・人の性	・孔子の人物像にふれる。
		・孔子と門人たちのものの見方、考え方を味わう。
3 学期学年末試験		